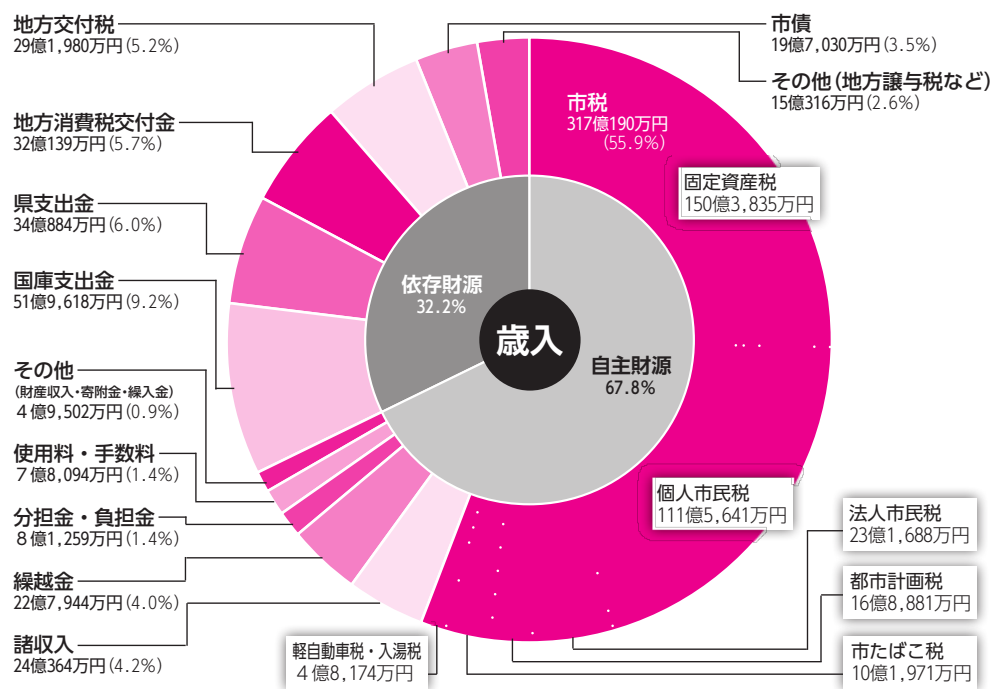


平成30年度 西尾市の決算の概要

平成30年度の決算の概要をお知らせします。
決算は、皆さんが納めた税金や、国・県からの補助金などが、まちづくりに
どのように使われたのかをまとめたものです。問財政課（☎65・2166）

一般会計歳入

市に入ったお金は566億7,320万円



特別会計・企業会計の決算

特別会計

会計名	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
国民健康保険	166億2,101万円	162億2,510万円	10億5,179万円
公共下水道事業	34億1,891万円	33億7,561万円	16億5,401万円
農業集落排水事業	5億8,393万円	5億5,877万円	3億3,982万円
介護保険	114億2,574万円	108億7,831万円	16億4,096万円
後期高齢者医療	19億4,558万円	19億3,584万円	3億1,975万円
佐久島診療所事業	4,454万円	3,570万円	500万円

企業会計

会計名	歳入	歳出	一般会計からの繰入額
病院事業	収益的収入 80億1,947万円	収益的支出 87億7,249万円	20億7,783万円
水道事業	収益的収入 34億8,142万円	収益的支出 28億8,862万円	115万円
渡船事業	収益的収入 1億8,957万円	収益的支出 1億7,261万円	38万円



市民病院



佐久島渡船

財政力指数

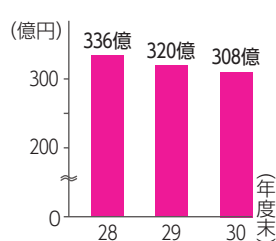
財政力指数とは、標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どれだけ自力で調達できるかを示す指標。1を超えていれば財源に余裕があるといえます。

年度	単年度 (3か年平均)
28年度	0.97 (0.98)
29年度	0.98 (0.98)
30年度	0.97 (0.97)

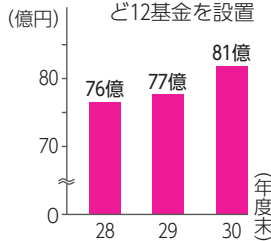
市債・積立金残高

平成30年度末時点で財政調整基金(約66億)など12基金を設置

市債残高の推移

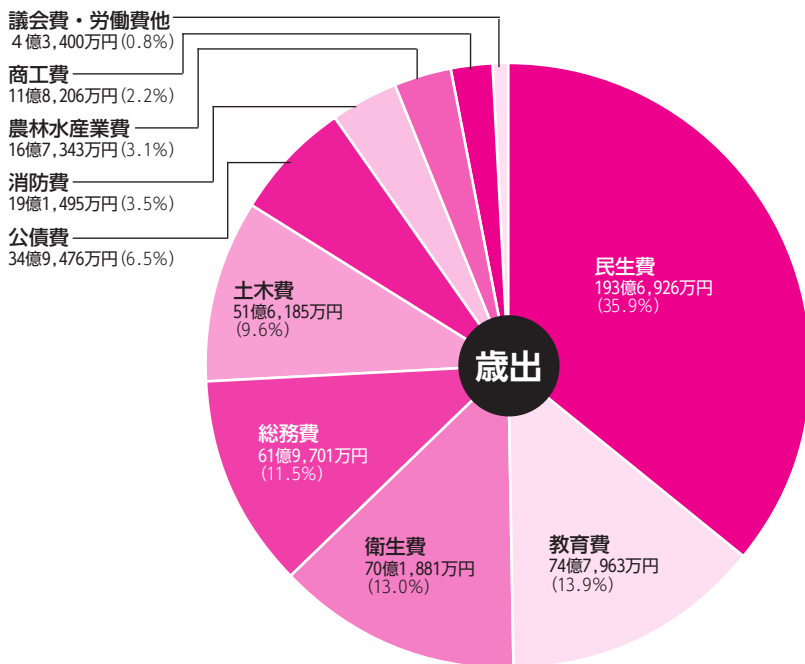


積立金残高の推移



一般会計歳出

市が使ったお金は**539億2,576万円**



市民1人当たりに置き換えると…

- ・積立金(貯金) … 4万7,003円
 - ・市債(借金) … 17万8,574円
 - ・使った金額 … 31万2,751円
- ※内訳は下表のとおり

民生費 福祉や子育て支援など	11万2,335円
教育費 学校教育や社会教育など	4万3,379円
衛生費 健康づくりやごみ処理など	4万 707円
総務費 一般事務や税の徴収など	3万5,941円
土木費 道路整備やまちづくりなど	2万9,937円
公債費 市の借金を返す費用	2万 268円
消防費 消防や救急活動など	1万1,106円
農林水産業費 農林水産業の振興など	9,705円
商工費 商業や観光の振興など	6,856円
議会費・労働費他 市議会の運営など	2,517円

※31年3月31日現在の人口17万2,424人で計算

健全化判断・資金不足比率

健全化判断比率、公営企業会計資金不足比率では、全ての指標が健全化への取り組みが必要な基準(早期健全化基準、経営健全化基準)を下回っているため、**財政状況は健全**だといえます。

- ・実質赤字比率…一般会計などの赤字額の割合を示す指標
- ・連結実質赤字比率…全ての会計の赤字額の割合を示す指標
- ・実質公債費比率…一般会計などが負担する借入金の返済額などの割合を示す指標
- ・将来負担比率…一般会計などが将来負担すべき借入金などの残高の割合を示す指標
- ・資金不足比率…公営企業会計の資金不足額(赤字額)の割合を示す指標

●健全化判断比率(4指標) (%)

指標名	比率	市の早期健全化基準
実質赤字比率	—	11.56
連結実質赤字比率	—	16.56
実質公債費比率	2.4	25.0
将来負担比率	—	350.0

●公営企業会計資金不足比率 (%)

指標名	比率	経営健全化基準
公共下水道事業	—	20.0
農業集落排水事業	—	20.0
病院事業	—	20.0
水道事業	—	20.0
渡船事業	—	20.0

※実質的な赤字額や将来負担額、資金不足額はなため、「—」で表示